

**DX 超合金**  
GE-69

劇場版  
**マクロス 恋離形翼**  
～サヨナラノツバサ～

©2011 ビックウエスト / 劇場版マクロスF製作委員会



# VF-19 ADVANCE

Variable Fighter

VF-19 アドバンス

**INSTRUCTION MANUAL 取扱説明書**



※画像はイメージです。



DX超合金VF-19アドバンスをさらに理解するために、「マクロスF(フロンティア)」に関する重要なキーワードを確認しておこう。

## 劇場版 マクロス 恋離飛翼 ～サヨナラソバサ～

### ISAMU DYSON

#### アイサム・ダイソン

フルネームはイサム・アルヴァ・ダイソン。新統合軍パイロット時代にはエース・パイロットの証である「ロイ・フォッカー章」を3度受賞する程の凄腕だったが、自由奔放な性格が災いして軍規違反を繰り返し、お荷物扱いされていた。だが技量を見込まれてYF-19のテストパイロットに抜擢。2040年に実施されたYF-21とのコンペを勝ち抜いただけでなく、「シャロン・アップル事件」解決の立役者となった。その後、軍を退役しようなのだが、空への渴望は抑え難く、予備役大佐としてYF-24のテストパイロットを担当。さらに機体の完成後はS.M.S.に転向。2059年に発生したマクロス・フロンティア船団によるバジュラ本星への侵攻作戦ではS.M.S.艦隊と共に参戦。マクロス・クォーター級戦闘艦「クレイジー・ホース」の一員として、「イサムスペシャル」と名付けられたVF-19アドバンスを駆る姿が記録映像に残されている。



### SHINSEI INDUSTRIES

#### 新星インダストリー

可変戦闘機(VF)メーカーの一翼を担う大企業。西暦2012年、VF-1バリエーションを開発したストンウェル・ベルコム社と、エンジン開発技術に定評のある新中州重工航空機部門の合併によって設立された。以後、VF-5000スターミラージュ、VF-11サンダーボルトなどの可変機の開発を担当。その堅実な設計が軍部から高い信頼を置かれ、結果として数多くの統合軍主力機を輩出するに至った。2040年に実施された新統合軍次期主力可変戦闘機(AVF)コンペティション「スーパー・ノヴァ計画」ではYF-19を開発。ゼネラル・ギャラクシー社が投入したYF-21と競合し、最終的な勝利を収めている。さらに地球新統合政府による「人類繁殖計画」が本格化するに各移民船団内に工廠を設立。地球本社から提供された基本設計データを基にして工廠ごとの新型機開発を推奨し、技術向上と系列機の発展を助長することで、さらなる市場拡大を画策している。VF-19アドバンスはその系列に並ぶ機体で、新星インダストリーとS.M.S.による合作である。

## VF-19 ADVANCE

### VF-19 アドバンス



**SPEED**  
全長: UNKNOWN(ファイター時) 全高: UNKNOWN(ファイター時)  
全高: UNKNOWN(ファイター時) 空重量: UNKNOWN

統合軍が推進したAVF(次世代全領域可変戦闘機)計画、通称「スーパー・ノヴァ計画」によって誕生したYF-19は、革新的な技術を惜みなく導入した新鋭機として誕生した。一部の特務機や試験機に搭載された熟核タービンFF-21000の発展型であるFF-2550の採用、ナビゲーションAIの導入によるアビオニクス面の大幅な改良。さらに可変戦闘機としては初めてPPB(ピンポイントバリア)システムと第三世代型アクティブステルスシステムを装備し、空戦能力だけでなく防弾面や隠密性でも既存機とは一線を画する能力を獲得した。だがこの高性能過ぎる能力が、VF-19の発展に不穏な影を投げかけることとなる。機体性能を十分に活かすにはパイロットにも優れた技量が求められたのだ。さらにYF-19の開発年の前後は各地で反統合軍運動が活発化しており、テロリストに強奪された高性能機が反統合軍活動に利用される危険性が看過できない状態にあった。そこでYF-19を母体とするVF-19はあえて機体性能にデチューンを施し、本来の機能を封じたまま、実戦配備が行われたのである。しかし、かつてYF-19のテストパイロットだっ

たイサム・ダイソンにはこの処置は到底納得できるものではなく、S.M.S.に転向して後、YF-19の改良と延命を目的とした実験機開発に乗り出した。こうして誕生したのがVF-19アドバンスである。一説によると、開発当初は新統合軍の輸出規制でVF-19が入手できず、やむなくモンキーモデルであるVF-19EFを母体としたらしい。さらに充分な開発予算が確保できなかったため、イサムが私費を投じたとの噂もある。そのため完成したVF-19アドバンスは予備機を含めて2機に留まっている。しかしデチューンされた個所はYF-19の仕様で復帰。さらにエンジン出力の増強や増加装備「アドバンスバック」(VF-19用ファストバックに、VF-25用スーパーバックの大型ブースターを組み合わせた特別仕様)の採用によって、最新鋭機VF-29に匹敵する能力を獲得した。ちなみにイサムは完成した本機を「VF-19 ADVANCE エクスカリバー・アドバンス」もしくは「イサムスペシャル」と名付け、YF-19ゆずりのジャジャ馬ぶりを発揮する本機を意気揚々と乗りこなしたとされる。

※画像はイメージです。  
※機体解説・データは、作品中のものです

## セット内容

### ■ 取扱説明書(本書)



VF-19本体

パイロットフィギュア



ガンポッド



エフェクトパーツA



ファイター用支柱



エフェクトパーツB



ガウォーク用支柱



エフェクトパーツC



ファイター用サポートパーツ(左・右)

※L/Rの刻印があります。

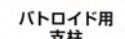
ガウォーク用支柱

ピンポイントバリアパンチエフェクト



ガウォーク用パーツ

パイロイド用支柱



### 本体手首



左

右

可動手首

### 交換用手首



左

右

握り手首



左

右

武器用手首



左

右

開き手首

### アドバンスバック



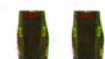
メインブースター(左・右)

脚部パーツA(左・右)



脚部パーツA(左・右)

※L/Rの刻印があります。



脚部パーツB(左・右)

※内側にL/Rの刻印があります。



脚部パーツC

×2

脚部パーツB(左・右)

※L/Rの刻印があります。



クリップ×2



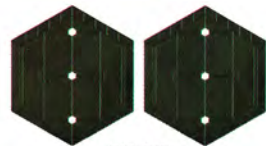
アーム



可動支柱×2



台座



補助台座×2



**注意** お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
  - 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
  - 尖った部分や鋭い部分がありますので、取扱や保管場所に注意してください。思わぬケガをするおそれがあります。
  - 可動部の隙間には指などを入れないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。
- (使用上の注意)
- 本商品は精密に作られています。無理な力を加えたり、落としたりすると破損するおそれがあります。
  - 関節部分を曲げたり回転させたりする時に、無理に動かすと彩色がはかれるおそれがありますので注意してください。
  - 本商品を樹脂製のソファやシート、タイルなどの上に置かないでください。長時間接触していると色が移る場合があります。
  - 本体や部品を箱に戻す場合は、梱包材に包んでから戻してください。

矢印一覧 Arrow List

- 取付けます。 Attachable
- 取り外します。 Removable
- 可動します。 Movable

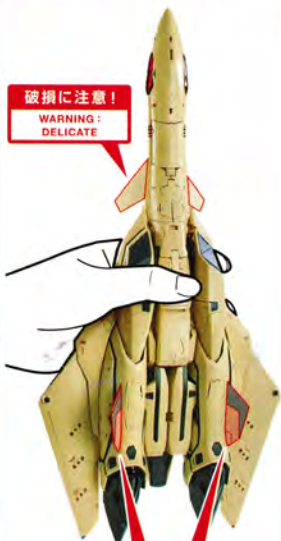
- 各パーツは取扱説明書(本書)の画像を参考に取付けてください。
- 取扱説明書の画像には試作品を使用しております。
- 取扱説明書の画像と商品とは、多少異なりますのでご了承ください。

**ファイター形態の組み立て方** ※箱に入った状態から始めます。

**注意**

▶変形時にパーツが他の部分に当たったり擦れたりすると、ボディの塗装がはがれるおそれがありますので注意してください。

※画像のように持って操作します。



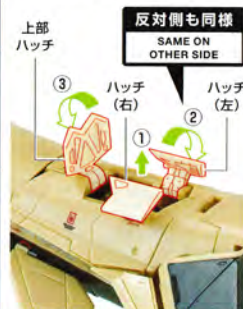
**破損に注意!**  
WARNING : DELICATE

**破損に注意!**  
WARNING : DELICATE

**破損に注意!**  
WARNING : DELICATE

**1 前輪**

- ①左右のハッチを引き出して、開きます。
- ②上部ハッチを開きます。

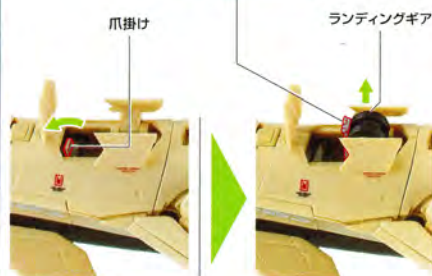


◀機体底面画像▶

**2**

爪掛けを押すとランディングギアが引き出されます。

※カタバルトフックを持って引き出さないでください。



◀機体底面画像▶

**3**

ランディングギアを少しずつ引き出します。

※カタバルトフックは可動します。

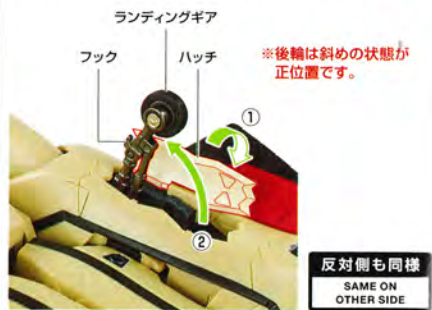


◀機体底面画像▶

**4 後輪**

- ①ハッチを開き、
- ②フックを持ち上げて、ランディングギアを引き出します。

※後輪は斜めの状態が正位置です。



◀機体底面画像▶

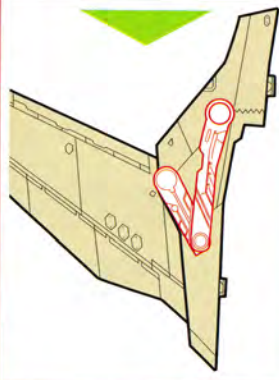
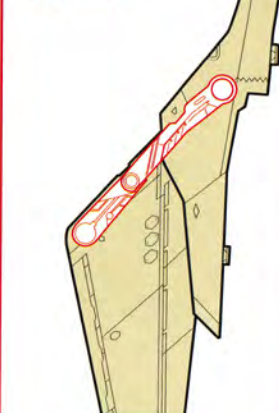
反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE

**5**

- ①尾翼を持ち上げます。  
※外側に開き過ぎると外れる場合があるので注意してください。
- ②主翼を可動させます。



※主翼は画像のアームが可動することで引き出すことができます。



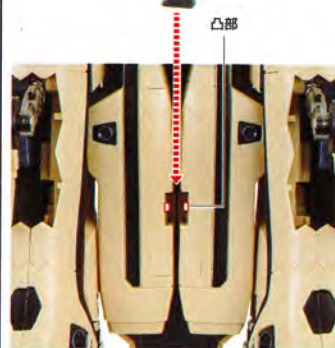
**6**

ガンポッドを砲身部分で少し曲げます。



**7**

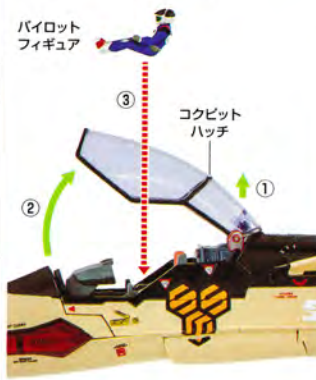
凹凸部を合わせてガンポッドを取り付けます。



◀機体底面画像▶

**8**

コクピットハッチを画像の順番で開き、パイロットフィギュアを乗せます。



**9**



※エアインテークのカバーは取り外すことができます。

反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE



**完成!!**

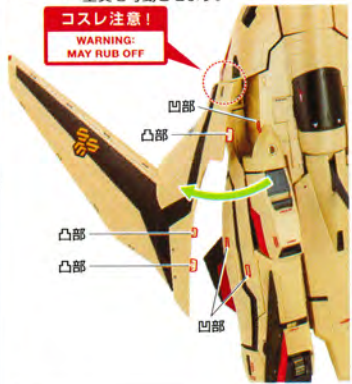
「ディスプレイ」はP.19を参照



## 脚部ミサイルハッチ

1 各凹凸部のロックを解除し、主翼を可動させます。

コスレ注意!  
WARNING:  
MAY RUB OFF



2 画像の順番で主翼を可動させて、ミサイルハッチを開きます。



3 ミサイルを取り外すことができます。



4 ミサイルハッチを開いた状態で主翼をもとに戻すことができます。



## ガウーク形態への変形 ※ファイター形態完成の状態から始めます。

### 注意

▶ 変形時にパーツが他の部分に当たったり擦れたりすると、ボディの塗装がはがれるおそれがありますので注意してください。

1 ※ガンポッドを取り外し、ランディングギアを収納します。各凹凸部のロックを解除し、主翼を可動させます。

コスレ注意!  
WARNING:  
MAY RUB OFF

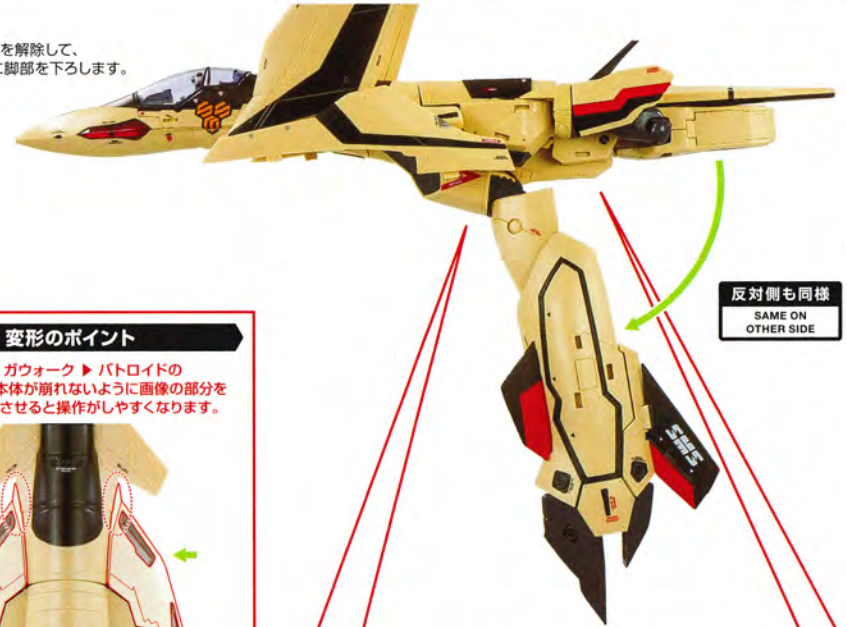


2 主翼を前方へ回転させます。



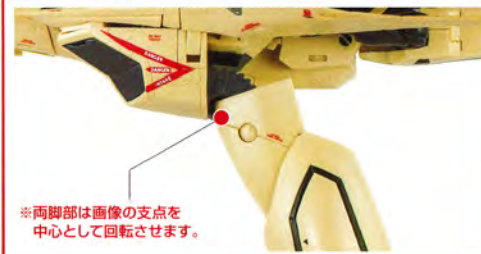
3

脚部のジョイントを解除して、もも付け根を軸に脚部を下ろします。



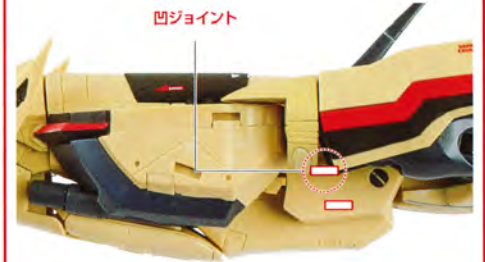
### 変形のポイント

※ファイター ▶ ガウーク ▶ パトロイドの変形操作中、本体が崩れないように画像の部分を押さえて変形させると操作がしやすくなります。



### 脚部のジョイント位置

左脚

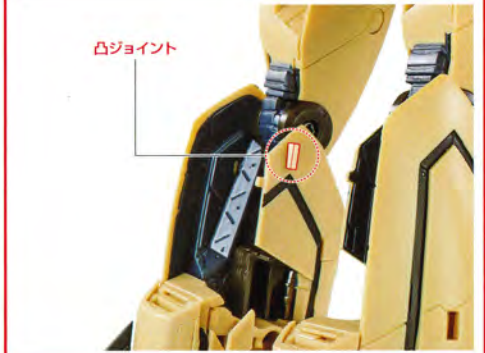


4 右脚

膝と足首を伸ばします。



### 凸ジョイント





**5 右脚**

尾翼を画像の順番で  
たたまめます。

**b 右脚**

つま先とかかとを開きます。

**7 右脚**

内すねパネルを脚内部に  
滑らせながらジョイント部を  
合わせます。

**8 右脚**

ふくらはぎの装甲を引き出します。

**9 左脚**

左脚も **4** ~ **8** と同様  
変形させます。

**10**

膝と足首の角度を調節して、  
本体を自立させます。



反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE

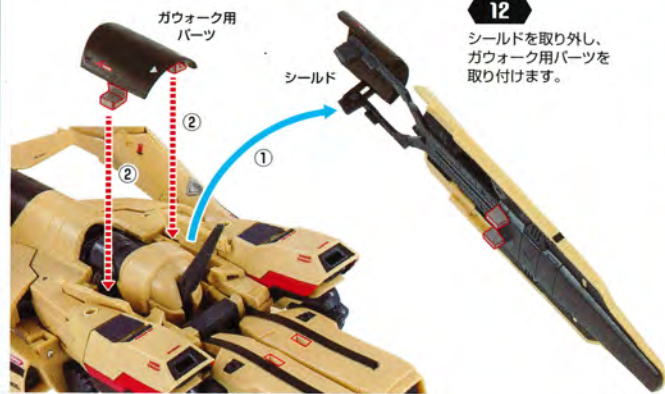
※尾翼とかかとの干渉に  
注意してください。

**11**

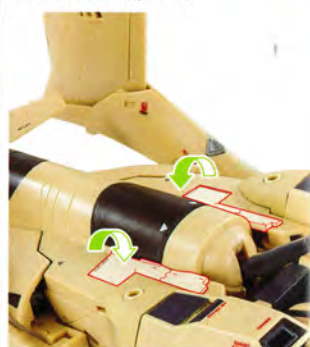
頭部側面パネルを開きます。

**12**

シールドを取り外し、  
ガウォーク用パーツ  
を取り付けます。

**13**

頭部側面パネルを閉じます。

**14**

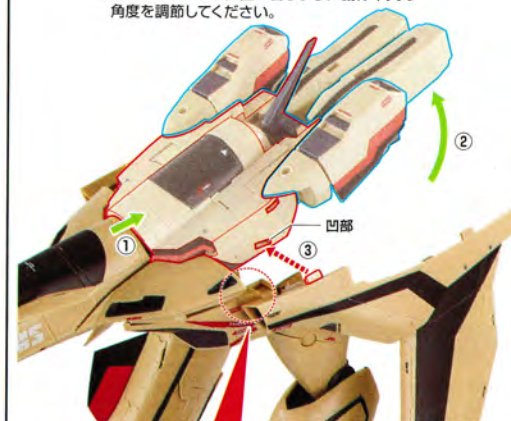
主翼を画像の位置まで戻します。



反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE

**15**

①機体中央を後方に少し引き出します。  
②機体中央を少し持ち上げます。  
③下位置の凹部に主翼を取り付けます。  
※主翼のジョイント位置が合うように機体中央の  
角度を調節してください。

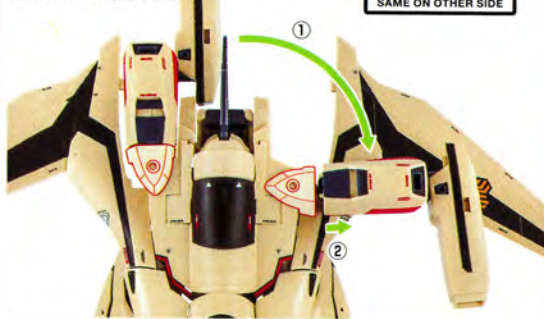


反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE

コスレ注意!  
WARNING-MAY RUB OFF  
※干渉を避けながら  
取り付けます。

**1b**

①肩部を軸に腕部を  
前方へ回転させて、  
②肩のロックを解除します



反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE

**17**

①腕を少し前方に回転させます。  
②腕部を下ろします。  
③肩サイドアーマーを下ろします。



反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE

**18**

①腕部ハッチを開き、②手首を引き出します。

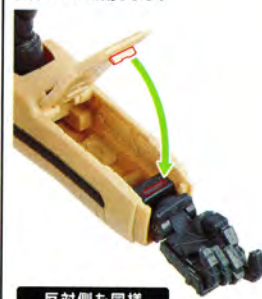


反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE

※爪を掛けて引き出して  
ください。

**19**

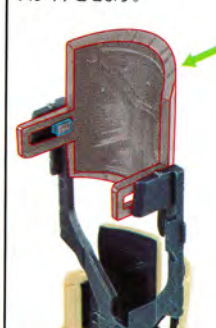
腕部ハッチを閉じます。



反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE

**20**

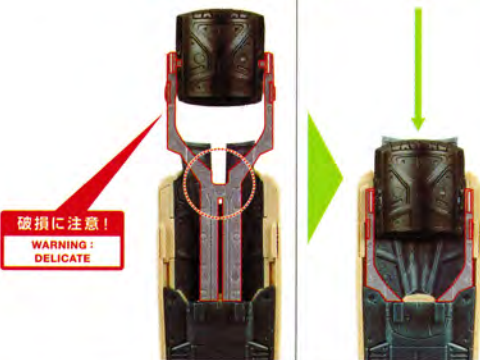
シールドのカバー部を  
スライドさせます。





21

カバー部を収納します。※画像部分を押してスライドさせてください。  
カバー部を押すと破損するおそれがあります。



22

①手首を回転させます。  
②シールドを取り付けます。



23

手首の凸部とガンポッドの凹部を合わせて握らせます。



凸部



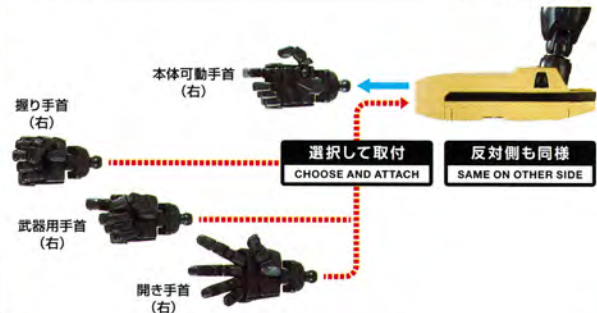
凹部

24



完成!!

### 手首の交換



※太もも軸が回転可動します。



### バトロイド形態への変形

※ガウォーク形態完成の状態から始めます。

#### 注意

▶変形時にパーツが他の部分に当たったり擦れたりすると、ボディの塗装がはがれるおそれがありますので注意してください。

※ガンポッドとシールドを取り外します。

1

カナード翼を引き出して、回転させます。



2

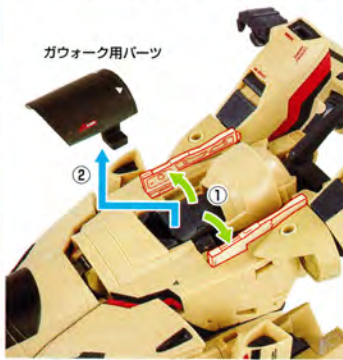
①腕部を後方へ回転させて、  
②主翼のジョイントを外し、  
③前方へ回転させます。



3

①頭部側面パネルを開き、  
②ガウォーク用パーツを取り外します。

ガウォーク用パーツ



5

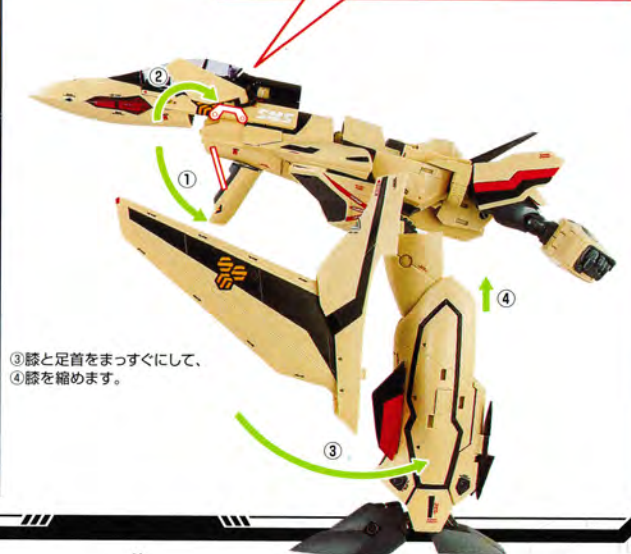
①機首下部パーツを下げて、  
②機首を持ち上げます。

※内部の可動フレームを確認してください。



4

背骨フレーム後部を開きます。





**b**  
機首先端を下げてジョイントします。



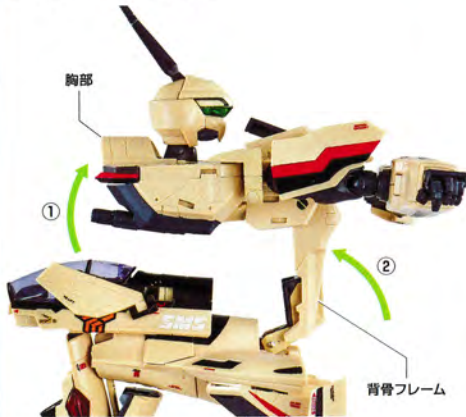
※2箇所の凹凸部を合わせてジョイントします。



**7**  
①頭部を起こし、  
②頭部側面パネルを閉じます。



**8**  
①胸部を持ち上げます。  
②背骨フレームを持ち上げます。



**9**  
①背骨フレームをスライドさせます。  
②腕部を前方へ回転させます。



**10**  
①胸部プレートを前方にスライドします。  
②胸部バルカン基部のプレートを起こします。

反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE



胸部プレート  
胸部バルカン基部のプレート

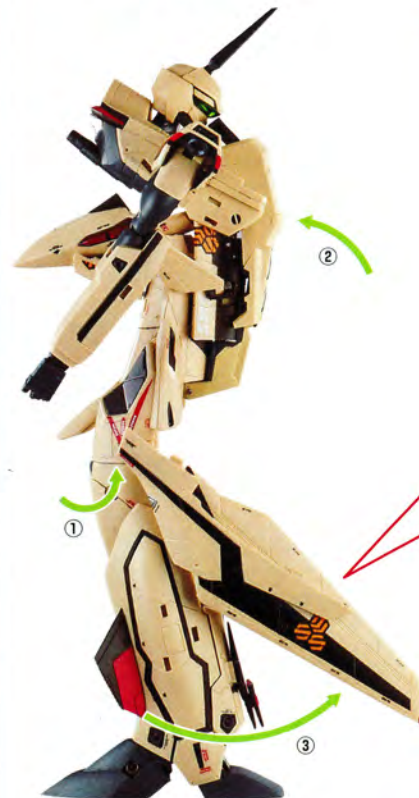


**11**  
カナード翼を倒します。

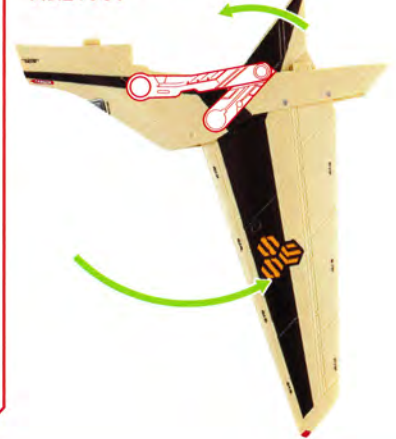
反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE



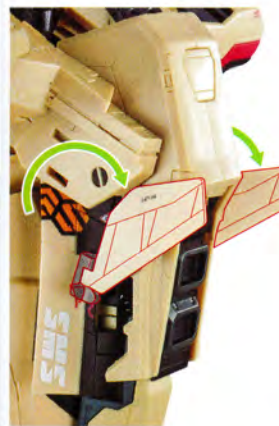
**12**  
①太ももを真っ直ぐにして本体を立たせます。  
②胸部全体を機首の上ののせます。  
※まだ、接続はしません。  
③主翼を変形させて、画像の形にします。



※主翼の中に、フレームが入り込みます。



**13**  
カナード翼を後方へ回転させます。



**14**  
背骨フレーム後部を閉じて、  
機首の凸部で固定します。



**15**  
①頭部を引き出して、  
②首部台座を後方にスライドさせます。





1b

機首先端に胸部をジョイントします。

胸部  
機首先端



※胸部と機首先端下部を持ってジョイントしてください。  
※画像のようになります。



※機首側面のクリアパーツを押して、干渉を減らすことができます。

クリアパーツ



17

カナード翼を背中の際間に収納します。



18

頭部を回転させます。



19

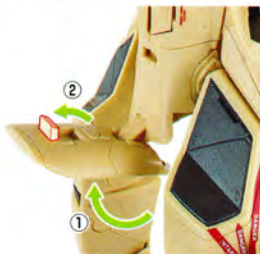
胸部バルカンを押し込みます。



反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE

20

①腰フロントアーマーを起こして、  
②ジョイントを起こします。



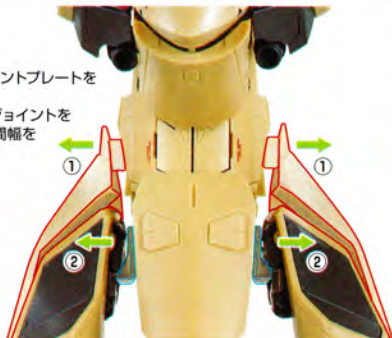
21

ジョイントします。



22

①脚部のジョイントプレートを解除します。  
②脚部付け根ジョイントを引き出し、股間幅を広げます。



23

脚部のジョイントプレートを太ももから浮かせます。

反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE

ジョイントプレート

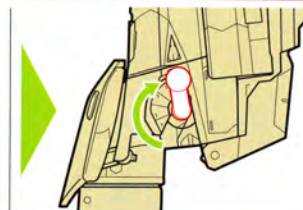
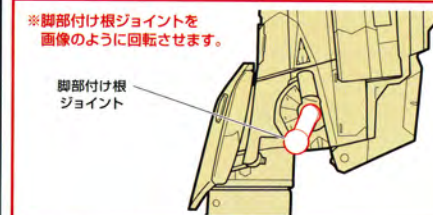


24

脚部を画像のように回転させて、脚部全体を上位置にセットします。

※脚部付け根ジョイントを画像のように回転させます。

脚部付け根ジョイント

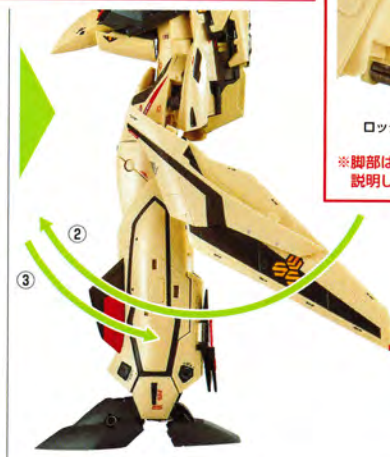


※ロックパーツ上辺に脚部付け根ジョイントを引っ掛けてロックします。  
※ロックパーツはスプリングで引っ込めることができます。



ロックパーツ

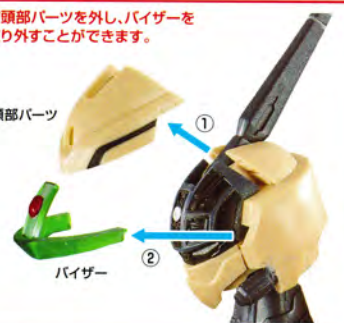
※脚部は取り外した状態で説明しています。



※前頭部パーツを外し、バイザーを取り外すことができます。

前頭部パーツ

バイザー



25

●シールドとガンボッドを取り付けます。  
「ディスプレイ」はP.19を参照



※腰部はひねり可動します。





## バトロイド形態 → ファイター形態への逆変形

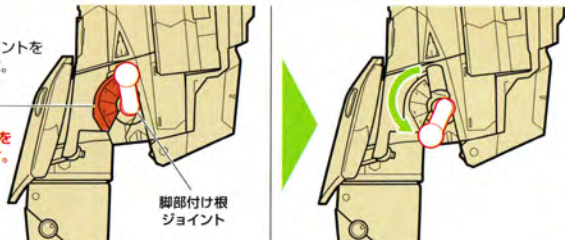
### 注意

▶ 変形時にパーツが他の部分に当たったり擦れたりすると、ボディの塗装がはがれるおそれがありますので注意してください。

### 1

脚付け根ジョイントを下位置にします。

※ロックパーツを引っ込みます。



### 2

カナード翼を下ろします。

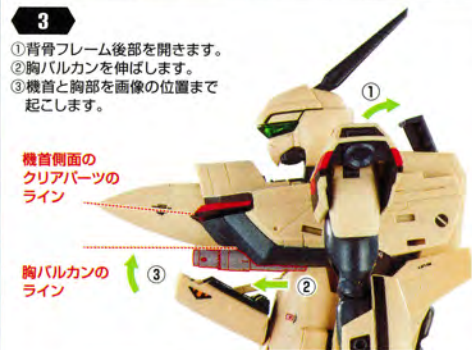


### 3

- ① 背骨フレーム後部を開きます。
- ② 胸バルカンを伸ばします。
- ③ 機首と胸部を画像の位置まで起こします。

機首側面のクリアパーツのライン

胸バルカンのライン



### 4

胸部のみを画像の位置まで起こします。

ラインが揃います。



### 5

機首を持って画像の位置まで起こします。



### 6

両側の胸バルカンを押さえながら、胸部を機首から外します。  
 ※胸バルカンの外れに注意してください。  
 ※外れたら、もとの位置に付け直してください。

※胸バルカンが機首側面のクリアパーツを乗り越えます。



▶ 各部の詳細な操作は、これまでの逆の手順で行ってください。

### 7

- ① 頭部が後ろを向くように回転させます。
- ② カナード翼を前方へ回転させます。



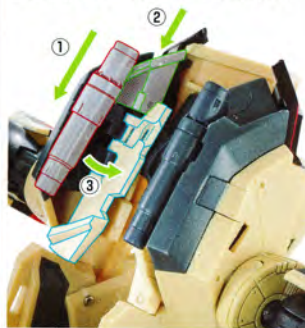
### 8

機首をファイター形態に戻します。



### 9

- ① 胸バルカンを縮めます。
- ② 胸部プレートを縮めます。
- ③ 胸部バルカン基部のプレートを倒します。



### 10

腰フロントアーマーをもとに戻します。



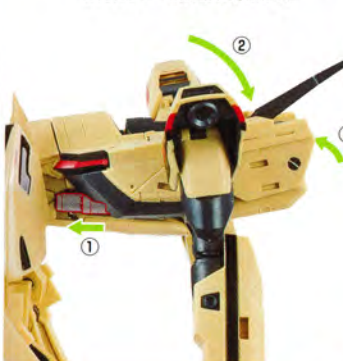
### 11

- ① 背骨フレームを縮めながら、
- ② 胸部をファイター位置に戻します。



### 12

- ① 胸バルカンを再度伸ばし、
- ② 頭部を収納します。
- ③ 背骨フレーム後部を閉じます。



### 13

手首は画像のように親指を内側にして、腕部内に収納します。



※この時点で、  
 ・胸バルカンが前位置にあること、  
 ・胸部バルカン基部のプレートが倒れていることを確認してください。

◀ 機体底面画像 ▶



14

肩サイドアーマーを上げて腕をファイター位置に戻します。



15

頭部側面パネルを開閉して、シールドを取り付けます。



16

※尾翼を展開します。



- ① 足首をたたみ縮めます。
- ② ふくらはぎの装甲を収納します。
- ③ 内すねパネルをたたみ、脚部をファイター形態に戻します。

17

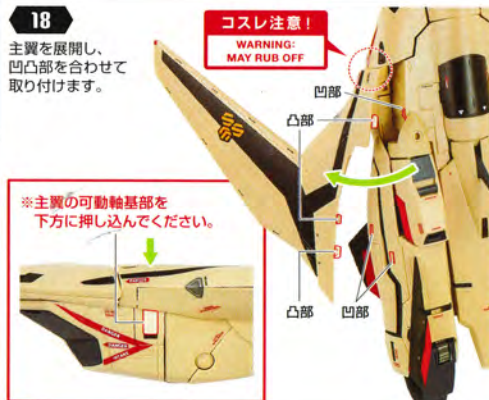
脚部を本体に取り付けます。



18

主翼を展開し、凹凸部を合わせて取り付けます。

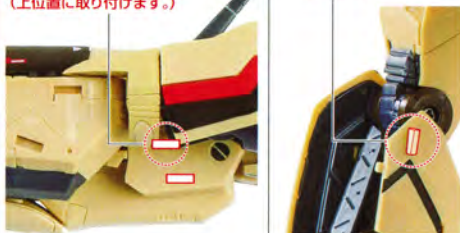
コスレ注意!  
WARNING: MAY RUB OFF



※主翼の可動軸基部を下方に押し込んでください。

※凹ジョイント (上位置に取り付けます。)

※凸ジョイント



※ジョイントの位置が合わない時は、ひざ関節を再度縮めてください。

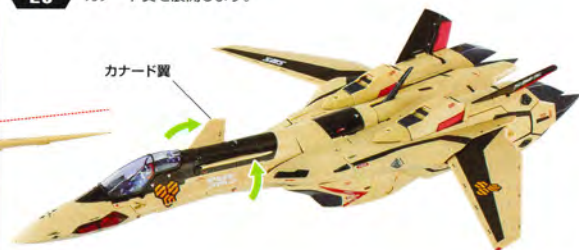
19

脚部から主翼は機体上部に対して、斜めに取り付けられます。



20

カナード翼を展開します。



## ファイター形態のディスプレイ

1 ファイター用支柱後方にパーツを取り付けます。



反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE

ファイター用支柱

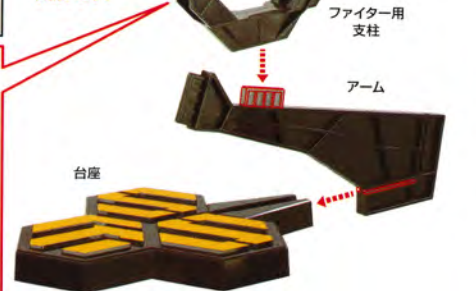
ファイター用サポートパーツ (右・R)

※上位置に取り付けます。

2

台座を組み立ててファイター形態を乗せます。

※ランディングギアを取納します。



ファイター用支柱

アーム

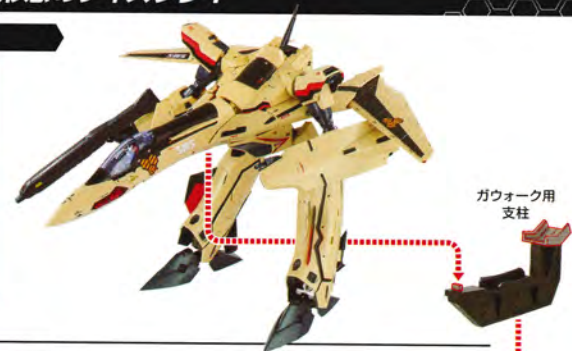
台座

## ガウォーク形態・バトロイド形態のディスプレイ

### ガウォーク形態のディスプレイ



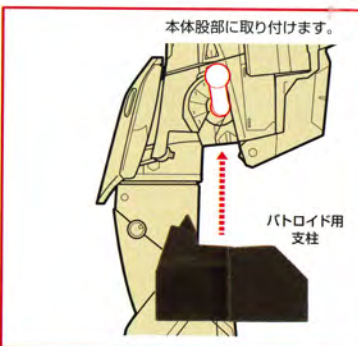
※画像の凹部に取り付けます。



ガウォーク用支柱

### バトロイド形態のディスプレイ

本体股部に取り付けます。



バトロイド用支柱

バトロイド用支柱

アーム

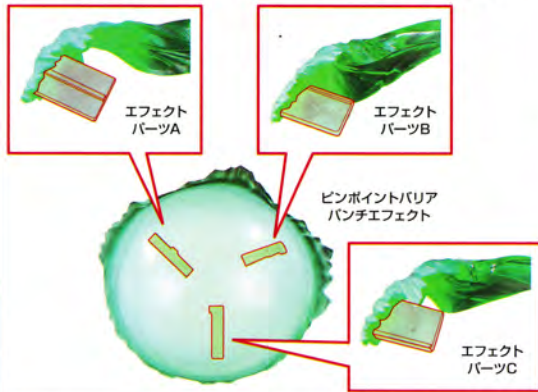
台座



## ピンポイントバリアパンチエフェクト ※バトロイド形態に取り付けます。

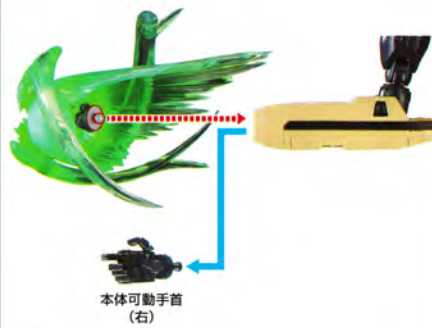
1

ピンポイントバリアパンチエフェクトの凹部の形状に合わせて取り付けます。



2

手首を取り外し、ピンポイントバリアパンチエフェクトを取り付けます。

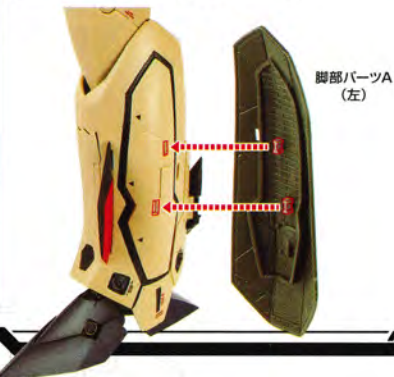


## アドバンスドバックの装備 ※バトロイド形態完成の状態から始めます。

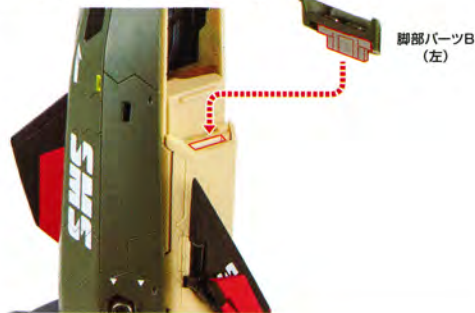
### メインブースターの装備



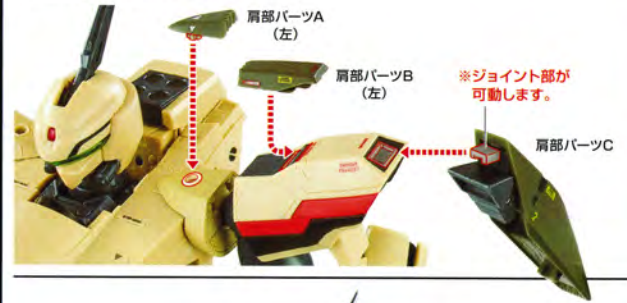
### 脚部パーツAの装備



### 脚部パーツBの装備



## 肩パーツA・B・Cの装備



反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE



## 補助台座の組み立て方

補助台座を組み立てて、メインブースターを装備した主翼を支えてください。



「ディスプレイ」はノーマル時と同様に行うことができます。

## ガウォーク形態

ガウォーク形態も同様にアドバンスドバックを装備することができます。

※アドバンスドバックを装備した状態で変形させる際は、メインブースターを取り外すと変形の操作がしやすくなります。

「ディスプレイ」はノーマル時と同様に行うことができます。





## ファイター形態

※主翼ジョイント部(下側)をアドバンスドバックの脚部パーツAの凹部に取り付けます。



### ■腕部・脚部の組み合わせ方(左側)

※本体肩サイドアーマーは、脚部パーツBの中に入り込みます。



※ふくらはぎ装甲は収納します。

ファイター形態も同様にアドバンスドバックを装備することができます。

※アドバンスドバックを装備した状態で変形させる際は、メインブスターを取り外すと変形の操作がしやすくなります。



※もも関節を1クリック動かします。

## 脚部のジョイント取り付け位置

### 左脚

#### 凹ジョイント

※下位置に取り付けます。



#### 凸ジョイント

※すね下が下位置に取り付けられます。



## ファイター形態(アドバンスドバック装備状態)のディスプレイ



※サポートパーツは下側の凹部に取り付けます。

## 高速飛行形態の再現

アドバンスドバックを装備した状態からメインブスターを取り外し、

- ①主翼をたたみます。
- ②垂直尾翼を内側に倒します。

反対側も同様  
SAME ON OTHER SIDE





# VF-19 ADVANCE

Variable Fighter

VF-19 ADVANCE



## FIGHTER

FIGHTER is high-mobility form that demonstrates overwhelming speed. Excellent mobility in the atmosphere and in space is demonstrated.

## GERWALK

GERWALK is between FIGHTER and BATTRDID.

It not only slides at high speed on the ground but also tricky movement in the air is skillful.

## BATTRDID

BATTRDID is humanoid form with an emphasis on the close combat. Various arms can be operated by making good use of the manipulator.

※機体解説は作品中のものです。